



ブシュロン、コールマン・ドミンゴをメゾンのフレンドに起用



2026年1月、フランスを代表するスタイリッシュなハイジュエリーメゾンであるブシュロンは、コールマン・ドミンゴをメゾンのフレンドとして起用することを発表いたしました。独自のスタイルとエレガンスで知られるコールマン・ドミンゴの影響力は、芸術の枠を超えて広がっています。2025年5月には、メットガラではVOGUE編集長のアナ・ウィンターと共にホストを務め、創造性と洗練を象徴する現代のアイコンとしての地位をさらに確固たるものにしました。2024年にはタイム誌の「世界で最も影響力のある100人」に選出され、芸術性、先見性、そして、ファッショニズムへの強い情熱をもって人々を魅了し続けています。

アメリカ出身のコールマン・ドミンゴは、映画、テレビ、舞台と幅広い分野で活躍し、同世代で最もダイナミックかつ多才な才能のひとりとして確固たる評価を得ています。二度のアカデミー賞ノミネートを誇り、力強く多面的な演技で40以上の賞を受賞。『ラステイン：ワシントンの「あの日」を作った男』の感動的な伝記映画から、『カラーパープル』のミュージカルのリメイク版、『キャンディマン』のスリリングなホラー作品、そして『シンシン SING SING』の深い感動を呼び起こす作品に至るまで、その作品群は役者としての圧倒的な幅を示しています。さらに、HBOの人気ドラマ『ユーフォリア/EUPHORIA』で演じたアリ役によりエミー賞を受賞し、ハリウッドで最も活躍する俳優の一人としての確固たる地位に押し上げました。今後は、2026年公開予定の『Michael/マイケル』（マイケル・ジャクソン伝記映画）や

スティーブン・スピルバーグ監督の新作映画に出演予定。また、2026年の春には『ユーフォリア／EUPHORIA』と『フォー・シーズンズ』の新シーズンでテレビ復帰も予定されています。

真のヴィジョナリーとして、パフォーマンスと自己表現の架け橋となる芸術性を発揮するコールマン・ドミンゴは、その創造的な深み、際立った個性、比類なきスタイルのセンスを武器に、現代カルチャーを牽引し続けています。

今回のパートナーシップにおいて、メゾンはドミンゴの多様なプロジェクトをサポートできることを誇りに思います。特に、ドミンゴはアンバサダーであるシャルロット・ル・ボンと共に演じたショートフィルムを通じて、メゾンと映画界の絆を強調しました。スタイル、大胆さ、そして感情が自然に融合したこの作品は、まさにメゾンの精神を体現するものです。

コールマン・ドミンゴとブシュロンのCEOであるエレーヌ・プリ＝デュケンは、今回の就任について次のようにコメントしています。

「ブシュロンのフレンドに就任できることを大変嬉しく、光栄に思います。ブシュロンは常にスタイルと革新の先駆者として、モダンでありながら時代を超えた作品を生み出し、今日のエレガансの真髄を再定義してきました。私はこのメゾンに、自身の歩みを重ね合わせます。大胆な表現、伝統への敬意、そして常に前進し続ける、未来への挑戦—それが私の信念です。」

コールマン・ドミンゴ

「コールマン・ドミンゴ氏をメゾンのフレンドとして迎えられることは大変喜ばしく、心より誇りに思います。彼の卓越したスタイルと比類なきエレガансに加え、私たちが深く共鳴するのは、その先見性に満ちたアプローチと溢れるクリエイティビティです。俳優、監督、プロデューサー、舞台演出家、作家など、彼は新たな領域での挑戦を続け、その才能を発揮しています。そして、私が何より魅了されたのは、自然体で誠実、そして温かな人間性です。彼は、ブシュロンの精神を真に映し出す存在です。自由でしなやかな心、未来への楽観、そして他者への真摯なまなざし——それこそが、メゾンが大切にする価値なのです。」

ブシュロン CEO エレーヌ・プリ＝デュケン

1858年にフレデリック・ブシュロンが創業し、一族によって4世代にわたり自由な精神とスタイルが継承されてきたブシュロン。パリ・ヴァンドーム広場にブティックを開いた最初のハイジュエラーとして、ブシュロンは一流のハイジュエリーと高級時計を象徴するメゾンとしての地位を確立してきました。自由で大胆な精神を持つブシュロンの唯一無二のスタイルは、世代を超えて受け継がれ、160年以上の歴史を誇ります。現在、ブシュロンは世界各国で90以上のブティックを展開し、国際的なラグジュアリーグループであるケリングに属しています。